

# 第 28 回石川県立高松病院 こころの臨床学会が開催されました

平成 28 年 2 月 27 日（土）、石川県立看護大学で第 28 回石川県立高松病院こころの臨床学会が開催され、院内外を含めて 114 名が参加しました。

今年は、「地域で暮らす ～医療と福祉の連携～」をテーマに一般演題 12 題が発表されました。日常の臨床の質を高めるために取り組んだ内容や今後の示唆を与える内容などが発表され、熱く議論が交わされました。

シンポジウムの「精神障がい者の地域定着」では、ピアサポートはくさんの寺西理恵氏、やたの生活支援センターの岡安努氏、らいず訪問看護ステーション宮本満寛氏、輪島市福祉環境部の毎田純子氏から、それぞれの立場における支援の実際と今後の課題について話をされました。本人の主体性を尊重しつつ、就労・IADL・地域活動などの連続した生活行為を多機関で連携して支援することの重要性を感じました。

## シンポジウム

### 開会宣言



### 一般演題

